

# 宮城

MIYAGI

## 防火防災の取り組みと教育について

株式会社白松がモナカ本舗 赤坂工場 高橋 弘行

当工場は緑豊かな青葉区芋沢にあり、近隣住宅や会社事務所、お寺などにかこまれた場所に立地しています。

食品製造工場として、地元宮城県を含め、全国の皆様に親しまれモナカ・ヨーカンを作り続けてきました。

従業員は74名で『良いお菓子』をお客様に届けることを、モットーに日々事業活動をおこなっています。

防災防火面では、2ヶ所にボイラーとLSA重油の保管タンクがあるため、給油の際の確認事項を守り、ボイラーの運転も基本を守って、点火～消火まで、目視での確認操作を、実行しています。



工場ということで、火を扱う設備も多く、火災予防に重点をおいています。毎年2回、定期的に防災避難訓練を実施し、秋の火災予防運動期間には、工場全体での『防災避難訓練』を、実施しております。

特に、初期消火訓練として、実際に火を点火しての消火訓練を、消火器で実施しています。

その際全員に、消火器の使い方の説明を繰り返し行い、実際の火災の際に、誰でも『初期消火』が可能な状態を目指しております。



また、毎年の防災避難訓練では、出火想定場所や火災想定内容も変えながら、消防通報・初期消火・避難誘導（救護など含む）を行っています。

その際に、毎回避難経路を考えてもらうために、通行できない場所や、非常口閉鎖、落下物による通行遮断、火災延焼による迂回通路などを設けて、実際にそくした訓練にするよう努めています。この形式を行うようになってから、訓練のマナーリ化が解消されたと考えています。今後については、『逃げ遅れ』・『エレベータ内の閉じ込め』なども、取り入れて訓練したいと考えています。



また不定期では有りますが、防火教育の一環として、『火災時の煙について』と『火災時の行動特性』と題して煙の流動・煙の危険性・一酸化炭素中毒の危険性、火災時の行動特性などを学習する機会を設けています。

宮城地区防火防災フェアにも定期的に参加しており、特にVR（バーチャルリアリティ）による疑似体験は好評で、参加者を変えて体験者を増やしています。

近年は気象災害が多発する傾向が強くなっているように思います。誰もが被害の当事者になりうる時代になっていることを痛感させられます。

常日頃から工場作業時はもちろん、各家庭においても防火防災の意識を高めることが、求められています。

普段行っていない行動や考え方を、もしもの時だけ実行できる人はいません。一人ひとりの意識の積み重ねが大事だということを、伝え続けていきたいと思っています。

企業の防火防災も一日にして成らずです。